



エコ・ファーストの約束（更新書）

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

令和3年8月12日

環境大臣 小泉 進次郎 殿

富士通株式会社
代表取締役社長

時田隆仁

富士通グループは、バリューチェーン全体で環境負荷低減とリスク最小化を徹底し、またお客様と共に環境課題を解決していくことで持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 2050年までに事業所(Scope1&2)においてゼロエミッションを目指します

- ・AIなどのデジタル技術を活用し省エネを徹底します
- ・FJcloudを2022年度までに100%再生可能エネルギーで運用します
- ・事業所(Scope1&2)におけるGHG排出量を2013年度比、2030年度までに71.4%削減し、SBT目標を達成します
- ・使用電力を再生可能エネルギー由来とするRE100目標（2030年40%、2050年100%）を達成します

上記とあわせ、事業のバリューチェーン[※]のGHG排出量を2013年度比、2030年度までに30%削減に取り組み、定期的に進捗状況を公開します [※]Scope3排出量の過半を占める、「購入した製品・サービス」、「販売した製品の使用」が対象

2. 循環型社会の実現に向けた取り組みを推進します

- ・2022年度までに新製品の資源効率を2019年度比、10%以上向上します
- ・調達部品納入時に使用されている部品トレーなど、使い捨てプラスチック梱包材のリユース、リサイクルを推進します
- ・事業所においてプラスチック容器やストローなどの廃止により、使い捨てプラスチックの使用量を削減します

3. 環境経営の高度化に取り組みます

- ・ICTを駆使した、環境経営統合ダッシュボードや環境マネジメントシステムの運用を行い、環境経営の可視化や効率化に取り組みます

富士通グループは、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果を定期的に公表するとともに、環境省へ報告いたします。

